

小・中学校の組合せのさまざまな状況

1 中学校1校＋小学校2～3校の組合せで、1校は隣接・近接、他校は距離がある場合

＜組合せの例＞

	中学校	隣接・近接校	分離校
1	旭丘中	旭丘小	小竹小
2	豊玉中	豊玉南小	豊玉小
3	中村中	中村小	中村西小
4	開進第一中	開進第一小	早宮小
5	開進第二中	南町小	向山小
6	開進第三中	開進第三小	開進第二小
7	開進第四中	開進第四小	仲町小
8	田柄中	田柄第二小	田柄小
9	光が丘第四中	光が丘秋の陽小	光が丘第八小
10	石神井西中	立野小	石神井西小、関町小
11	谷原中	北原小	谷原小
12	三原台中	泉新小	光和小、橋戸小
13	大泉中	大泉小	大泉第四小、大泉第六小
14	大泉第二中	大泉南小	大泉第二小
15	大泉北中	大泉北小	大泉第一小
16	関中	関町北小	石神井台小
17	八坂中	八坂小	豊溪小

＜論点＞

- ①中学校1校＋小学校2～3校の組合せで、1校は隣接・近接、他校は距離がある場合、隣接・近接の小学校との取組と、距離のある小学校との取組に差が出やすい。
- ・同じグループ内にある小学校との取組にあまり差が出ないよう、距離のある小学校ともできるような取組に絞って実施すべきか。
 - ・小・中学校間の距離などによって取組に差が出ることはやむを得ないと考えて、状況に応じてできる取組を進めていくべきか。
- ②同じグループ内にある小学校との取組に差がある場合、配慮すべきことは何か。

2 進学先と連携先が一致しない場合

<組合せの例>

	小学校	連携先	平成 25・26 年度進学先の割合(区立進学者中)
1	開進第二小	開進第三中	㊦ 開進第二中 (76%)、開進第三中 (22%) ㊧ 開進第二中 (62%)、開進第三中 (36%)
2	大泉第四小	大泉西中	㊦ 大泉中 (60%)、大泉西中 (38%) ㊧ 大泉中 (56%)、大泉西中 (42%)

<論点>

- ①連携先中学校は、進学者が最も多い中学校と一致させることが望ましいか。
- ②連携先中学校が進学先と一致しない場合、どのような配慮が必要か。
- ③進学先にあわせて連携先中学校を変更する場合、どのような配慮が必要か。

3 進学先が大きく分散する場合

<組合せの例>

	小学校	連携先	平成 25・26 年度進学先の割合(区立進学者中)
1	北町西小	北町中	㊦ 北町中 (48%)、練馬東中 (44%) ㊧ 北町中 (58%)、練馬東中 (37%)
2	向山小	開進第二中	㊦ 貫井中 (46%)、開進第二中 (42%) ㊧ 開進第二中 (64%)、貫井中 (27%)
3	豊溪小	八坂中	㊦ 谷原中 (37%)、八坂中 (30%)、光一中 (23%) ㊧ 八坂中 (48%)、光一中 (47%)
4	石神井東小	石神井東中	㊦ 石神井東中 (51%)、南が丘中 (44%) ㊧ 石神井東中 (49%)、南が丘中 (37%)
5	谷原小	谷原中	㊦ 石神井東中 (53%)、谷原中 (36%) ㊧ 谷原中 (50%)、石神井東中 (42%)
6	大泉東小	大泉中	㊦ 大泉中 (46%)、石神井中 (39%) ㊧ 大泉中 (59%)、石神井中 (36%)
7	南が丘小	南が丘中	㊦ 南が丘中 (56%)、石神井南中 (35%) ㊧ 石神井南中 (60%)、南が丘中 (38%)

<論点>

- ①進学先中学校が二分していたり、年度によって大きく変動したりする場合、連携先中学校を流動的に変更していくべきか。
- ②連携の組合せを流動的に変更する場合、どのような配慮が必要か。